

2023年度 緑の国際ボランティア研修(カンボジア)

カンボジア国では、2006年時点で国土の60%を覆っていた森林面積が、開発行為等によって2016年には45%に減少し、自然資源の枯渇や気候変動によって高まる自然災害のリスクに、人々の生活が脅かされています。国際緑化活動の重要性や「緑の募金」が果たす役割について研修員の理解を深めることを目指し、カンボジア国において2024年3月7日(現地着)から3月14日(現地発)に至る8日間、「緑の国際ボランティア研修」を実施しました。本研修では、NGOが取り組む植林活動地の視察、植林地管理活動の体験、森林の炭素貯留量を推定する森林資源調査等に取り組みました。具体的には10人の研修員が研修中に取り組むテーマとそのテーマに基づいて3グループに分かれ、それぞれのグループにおいて仮説を設定しました。各グループは地域住民への聞き取り調査や現地大学生との意見交換を通して仮説の検証を進めました。その過程で研修員はカンボジア国における森林管理の現状やその背景を学び、人と自然との共生の在り方や持続可能な開発についての考察を深めました。最終日には研修成果発表会が開催され、研修の総括と仮説の検証結果とともに、持続可能な森林管理に向けた具体的なアクションプラン等を発表しました。

	日時	主な活動	宿泊地
1	3/7 (木)	・羽田空港より出発(15:20) ・マニラ着(19:40)	マニラ
2	3/8 (金)	・グループディスカッション ・マニラ発(15:20 発) ・プノンペン着(23:55)	プノンペン
3	3/9 (土)	・コンボンチャムへ移動 ・「緑の募金」植林活動地視察、地域住民との意見交換、地域住民と協働での植林地管理活動(苗木の生育状況調査等) ・苗床(苗木の保育圃場) ・バンブーブリッジの見学	コンボンチャム
4	3/10 (日)	・クラチェ州に移動 ・「緑の募金」植林活動地(小学校)視察、小学生・地域住民との意見交換、小学生・地域住民と協働での植林地管理活動(補植等)	クラチェ
5	3/11 (月)	・コミュニティフォレスト訪問、森林資源調査(樹木における炭素貯留量の推定) ・ゴム農園(プランテーション)訪問、森林資源調査(樹木における炭素貯留量の推定)	クラチェ
6	3/12 (火)	・トボンクムン州に移動 ・トボンクムン大学にて現地大学生とグループディスカッション、キャンパスツアー	トボンクムン
7	3/13 (水)	・プノンペンに移動 ・グループディスカッション、研修成果発表会準備	プノンペン
8	3/14 (木)	・研修成果発表会、修了式 ・クメールグリーンチャコール視察 ・プノンペン発(24:45)	機内泊
9	3/15 (金)	・成田空港着(12:40)	

* 旅行業法により現地集合・現地解散ですが、随行スタッフが研修参加者の渡航便に同行しました。



經由地マニラにて(3月8日)



プノンペン国際空港に到着(3月8日)



出発前の集合写真(プノンペン)(3月9日)



地域住民との意見交換(コンボンチャム州)(3月9日)



植林苗木の生育状況調査(コンボンチャム州)(3月9日)



補植活動(クラチェ州)(3月10日)



バンブーブリッジ訪問(コンボンチャム州)(3月9日)



コミュニティフォレスト訪問(クラチェ州)(3月11日)



小学校における聞き取り・意見交換(クラチェ州)(3月10日)



森林資源調査(クラチェ州)(3月11日)



補植活動(クラチェ州)(3月10日)



森林資源調査(クラチェ州)(3月11日)



トボンクムン大学訪問(トボンクムン州)(3月12日)



昼食時のミーティング(プノンペン)(3月13日)



現地大学生と意見交換(トボンクムン州)(3月12日)



クメールグリーンチョコレート訪問(プノンペン)(3月13日)



トボンクムン大学施設見学(トボンクムン州)(3月12日)



研修成果発表会(プノンペン)(2024年3月14日)



トボンクムン大学長と記念撮影(トボンクムン州)(3月12日)



修了式(プノンペン)(2024年3月14日)